

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所 いろいろ		公表日 令和7年 2月 12日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・キッチン、遊ぶ場所、一人でクールダウンできる場などがある ・活動内容、進み具合によって部屋を変えたり十分スペースがとれるようにしている ・学習室や2階など活動や人数に応じて対応している 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・基準人員配置している ・①の職員は1名多く配置している 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・キッチン、遊ぶ場所、一人でクールダウンできる場などがある ・活動によって仕切りや物の配置等変えて活動しやすいよう工夫している 	・子ども達が整理整頓しやすいようもっと配慮したい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない部屋やソファ等で区切られたスペースを使って過ごせるようになっている ・クールダウンの時など自分から1人になる子もいる ・静かに過ごしたい時、クールダウンが必要な時に使用できる部屋が複数用意されている 	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日終業前にミーティングをし全員参加している 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフミーティングで保護者の意見を検討し改善できる箇所はその都度行っている ・スタッフミーティング、打ち合わせで共有、改善についても話し合っている 	

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・終業前の打ち合わせを全従業員で行うことを徹底している（記録も） ・毎日の帰りの打ち合わせで反省や気付いたこと、明日の取り組みなど話し合う場がある ・スタッフミーティング、打ち合わせ、研修等 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・公的機関ではないが保護者アンケートをとっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価を行っているかを知らない ・第三者委員会の設置なし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・以前より多く行われている ・子どものよみとりや虐待や感染症など事業所内での研修もしながら共通理解をする機会を設けている 	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・準備中 ・2月中公開予定
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が作成したものを一度その他の職員で検討している ・日々の様子の共有、中間評価も含め話し合っている 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			・部屋を分けて人数も調整したり、活動に合わせ環境を工夫している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12			・支援の振り返り、改善点、ヒヤリハット等毎日打ち合わせて話している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			・児発管が行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12			・好きな色、おやつの種類等ひとつひとつの活動の中で選択の機会を意図的に取り入れるようにしている ・些細な事でも選択する機会を設けている ・個人に合わせて自己選択の方法、内容は変えているが自己決定できる力が育めるよう支援している
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			・児発管が参加しています ・児発管が参加
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	1		・事業所→学校へのコミュニケーションはあるが、学校→事業所へのアプローチは非協力的である ・学校からの引継ぎは、ほぼない

関係機 関や保 護者 との 連 携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・つくしの家さんとは交流も持っており情報共有が密に行われている ・4月から利用する場合には、特に細かく様子を教えてもらいスムーズに迎えられるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・児発の事業所とは共有できるが保育園、幼稚園とは難しい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度卒業する児（初）の成年の相談支援員との会議を行った（児発管が参加） ・引継ぎの会議が行われ、情報を提供している 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回交流事業の機会を持っている ・月に1回交流の日を設定し色々な活動を地域の子ども達と一緒にしている ・月1回交流日（土曜日）を開催しボランティアさんも多数参加してくれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブとの交流は出来ていない ・児童クラブ交流は申し入れているが断られている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参加してくれています ・研修等に参加している ・児発管が参加 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、面談、TEL、メール等でも随時会話をしている 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	5	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラム提供ではなく情報の提供及び共有は活発である ・年2回保護者会を行い、情報共有や先輩ママの話を聞く場を設けている ・保護者会に講師を呼んで話を聞く機会を設けた 	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている 		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	12		・年2回 ・保護者会は年2回開催。保護者の方が集まってカレーを子どもたちのために作ってくれた	・きょうだい交流はなし	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12				・苦情は今のところありません
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	1			・帰りのお迎え時様子を話すときに他のお宅に聞こえてしまっていることも考えられる
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12			・いろいろ感謝祭 ・ホテルの放流に参加、田沼マラソンへの参加ができていたのでありがたいです ・お世話になっている方を招くイベントを行っている ・季節の行事に来ていただいたり、年に1回「感謝祭」に招待している	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12				・契約時だけでは量が多く周知しきれない ・保護者用の【簡単マニュアル】のようなものが必要と思われる	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11				・見直し中 ・反省をふまえ再検討しているところ ・作成中 ・見直し中、HP公開準備中	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12			・薬の変更の際は処方箋のコピーをもらっている ・服用の変更の都度、共有している ・発作等は様子など細かく確認、共有している		

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	5		<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー児童なし ・対象児なし ・対象児なしだが対応可である
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			<ul style="list-style-type: none"> ・HPでの公表を準備中
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		<ul style="list-style-type: none"> ・もっと周知できるようHPでの公表も検討している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・その日のうちに職員全員で共有している。改善が必要なところは話し合い都度検討をしている 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		<ul style="list-style-type: none"> ・年2回行っている ・年2回職員研修で行っている 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12			